

昨年度から小松台小学校と連携して発信している研究便り「かけはし」も第6号となりました。

学校では、道徳重点項目「○生命尊重 ○節度・節制、基本的な生活習慣 ○郷土愛 ○勤労、社会への奉仕、公共の福祉」に基づいて実践している内容を、この便りを通して地域・保護者の方々に知らせることにより、生目地区の子ども達を学校・家庭・地域で育てていきたいと考えています。

今回の「かけはし」では、7月に生目中学校で行われた各学年の研究授業の様子や、生徒会による道徳的実践活動の取組を紹介します。

研究授業の様子

「考えを深めるための一言」(発問)を研究しています

第1学年「広い心で」【資料名 自分らしさ～松井秀喜】

松井秀喜さんの生き方を通して、広い心で相手の立場を尊重することや、自分の個性について考える内容でした。

先生「自分の長所を生かして有意義な生活をするためには、どのような心がけが必要でしょうか？」

自分の長所で周りを笑顔にする。他人の気持ちを考えながら...



道徳的実践事項

《5月》

東日本大震災をうけて

生徒会役員を中心に、東北の映像を通して「自分たちに何ができるか」を考えました。



《6月》

小中合同あいさつ運動

生目小学校の児童と一緒に、実施しました。

「あいさつは交流の輪を広げる魔法の言葉」 3年 大平裕由佳



第2学年「人間の弱さの克服」【資料名 足袋の季節】

おばあさんを騙した主人公の自責の念を通して、弱さを克服し、自分に恥じない生き方について考える内容でした。

先生「おばあさんに言いたかったことは、どんなことでしょうか。」

自分の欲のために正直に言えず、申し訳なかった。

後悔しているけれど、あの時のおかげで自分がいます。



第3学年「強い意志をもつ」【資料名 ドリブル】

明確な目標をもてなかった主人公の心の変化を通して、強い意志をもち、やり抜く心の大切さについて考える内容でした。

先生「自分のことを振り返って考えよう。目標に向かって強い意志をもって生きていくには、どのようなことが必要ですか？」

やる気が大切！

あきらめないこと。

自分に自信をもつこと。



情報発信研究班では、地域や家庭のご意見をお待ちしております。

